

# 躍進するハイブリッド・クラウド

-ハイブリッド・クラウドは日本企業にとって不可欠なビジネスドライバーなのか-



IBM Center for Applied Insights

ハイブリッド・クラウドはITのデファクトとなった

リーダー企業は、コスト削減や生産性向上に始まり、ビジネス成長やデジタル変革に至るまで、優れた業績を達成するため、従来型インフラとクラウドを融合している

さらには、破壊的変化をもたらし、新市場を獲得する次世代に向けた取組みを飛躍させる目的でハイブリッド・クラウドを活用している

ハイブリッド・クラウドが企業に与えている影響を理解するため、従来型のITインフラとクラウドを混在させて用いている企業におけるITの意思決定者501名を対象として、グローバルな調査を実施。日本からは、32名の回答を得た

ハイブリッド・クラウドは以下2つのいずれかもしくは併用を指す

1) 従来型ITシステムと1つ以上のクラウドを接続 2) 1つ以上のクラウドと他のクラウドを接続

# ハイブリッド・クラウドを考える際、全社的な戦略、IT部門とビジネス部門間の連携そして先進的なサービスへの適用は、日本企業が特に考慮すべき要素である

## 戦略

日本企業は、ハイブリッド・クラウドが自社のビジネスの成功のために不可欠であることを確信している。しかし、ハイブリッド・クラウドに対する明確な戦略を確立しているのは、全体の半分以下に過ぎない

- 69% の日本企業はハイブリッド・クラウドはコストを削減し、ビジネスプロセスやデータセキュリティを改善すると確信している
- さらに、72%の企業はハイブリッド・クラウドがビジネスの成功のために重要であることを認識している
- しかし、ハイブリッド・クラウドに対する、全社的な戦略があるのは、回答者全体のわずか47%である

## ITとLOBの連携

日本企業は、ハイブリッド・クラウドによってIT部門とビジネス部門との協力関係が加速されることを理解している。しかし、未だ多くが両者の連携に課題を抱えている

- 72% の企業はハイブリッド・クラウドがIT部門とビジネス部門間の連携を強化すると考えている
- しかし、企業が挙げたハイブリッド・クラウド環境における課題として、両者の連携は、2番目に多い課題となっている

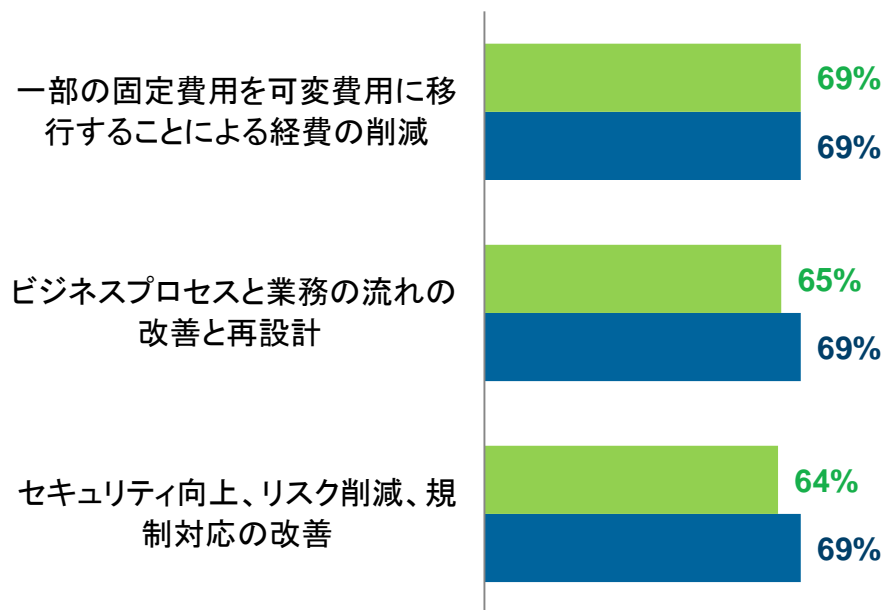
## テクノロジー

日本企業は、新しいビジネスの提供や、次世代のテクノロジー導入のために、ハイブリッド・クラウドを活用したいと考えているが、デジタル・サービスへの適用においては、グローバルに遅れを取っている

- ハイブリッド・クラウドによって、ビジネス成長を実現した企業や、'次世代'テクノロジーを取り入れたいと考える日本企業の割合は、グローバルと同等である
- 一方、新しいWebやモバイル向けのサービス等のデジタル・サービスへの適用や、エコシステムの拡張を達成した企業は、グローバルと比較して低い割合となっている

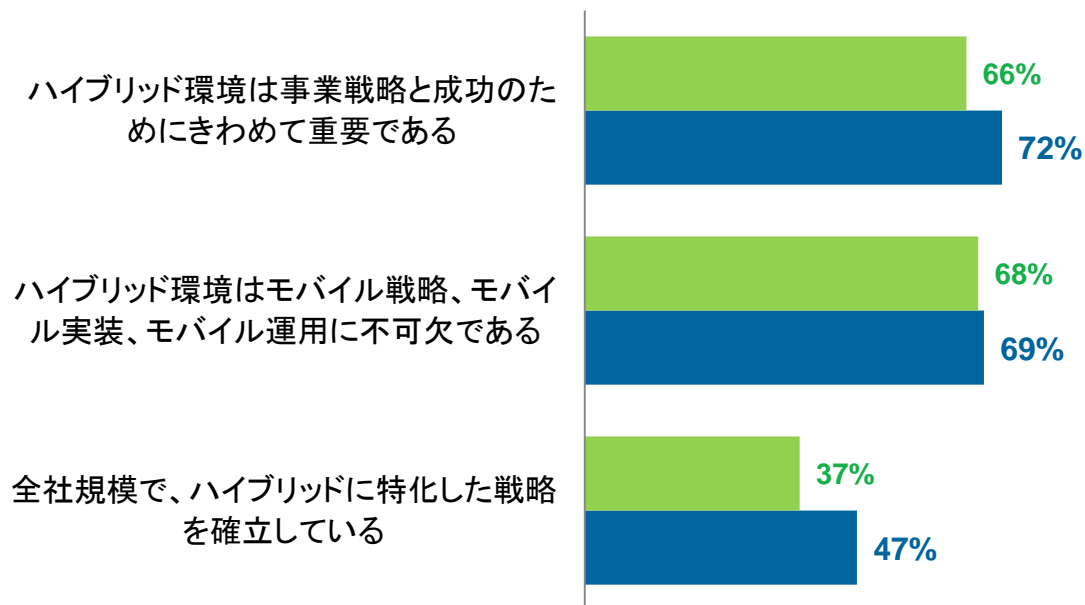
日本企業は、ハイブリッド・クラウドによって、自社のビジネスプロセスやデータセキュリティが改善出来ると考えている

## ハイブリッド環境によって得られた成果 Top 3



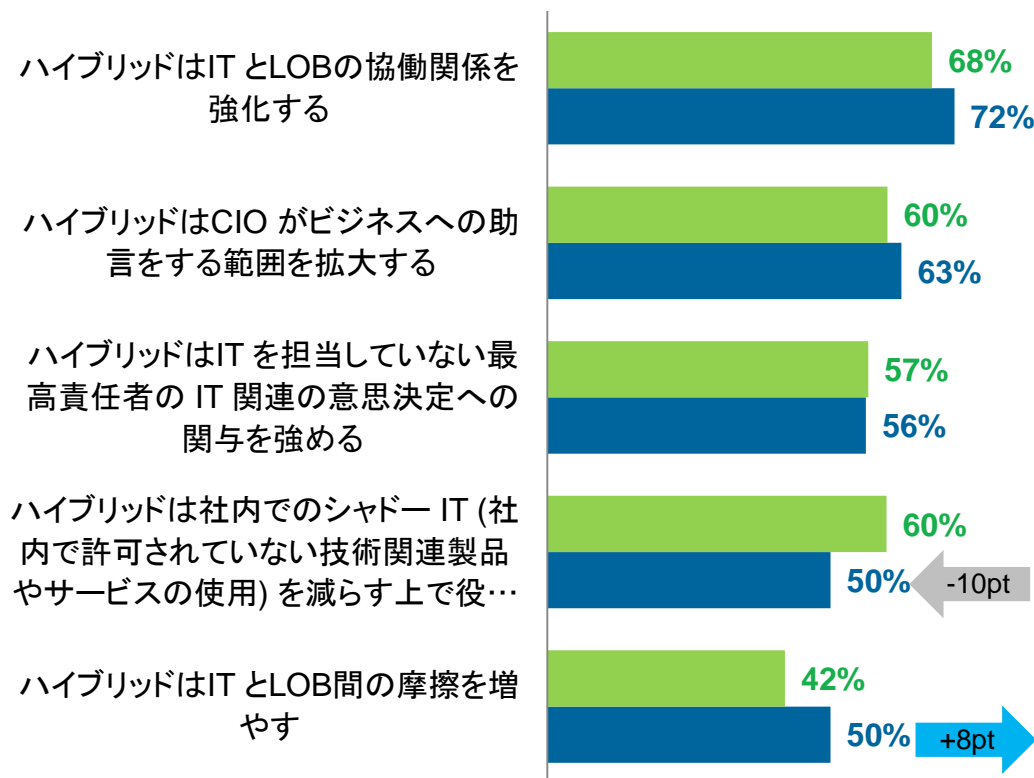
70%の企業がハイブリッド・クラウドは自社の成功に不可欠であると理解しているが、実際に全社的な戦略を持っている企業は半数にも満たない

## 包括的な戦略



企業は、ハイブリッド・クラウドによるIT部門とビジネス部門の連携強化を期待する一方、むしろ部門間の軋轢は増加し、シャドーITを減らすことも難しいと考えている

## 企業文化を変革するハイブリッド

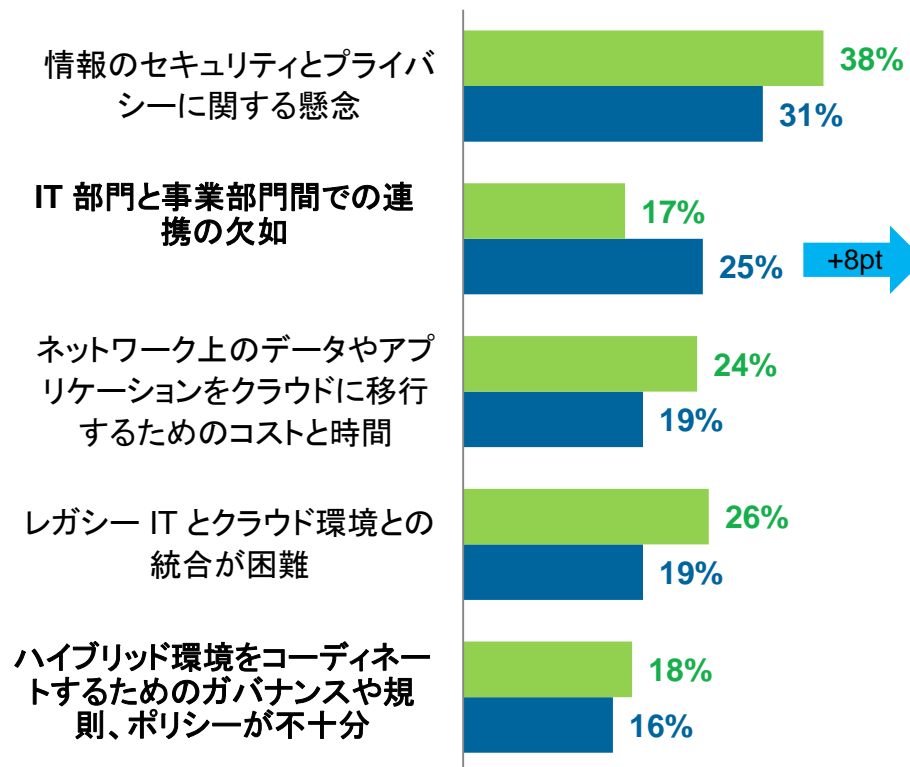


■ WW  
■ Japan

IT部門とビジネス部門の連携の欠如、そしてガバナンスが十分でないことが、日本企業の課題となっている

## ハイブリッド環境における課題/問題 Top 5

(重要視するものから順に3つ選択)

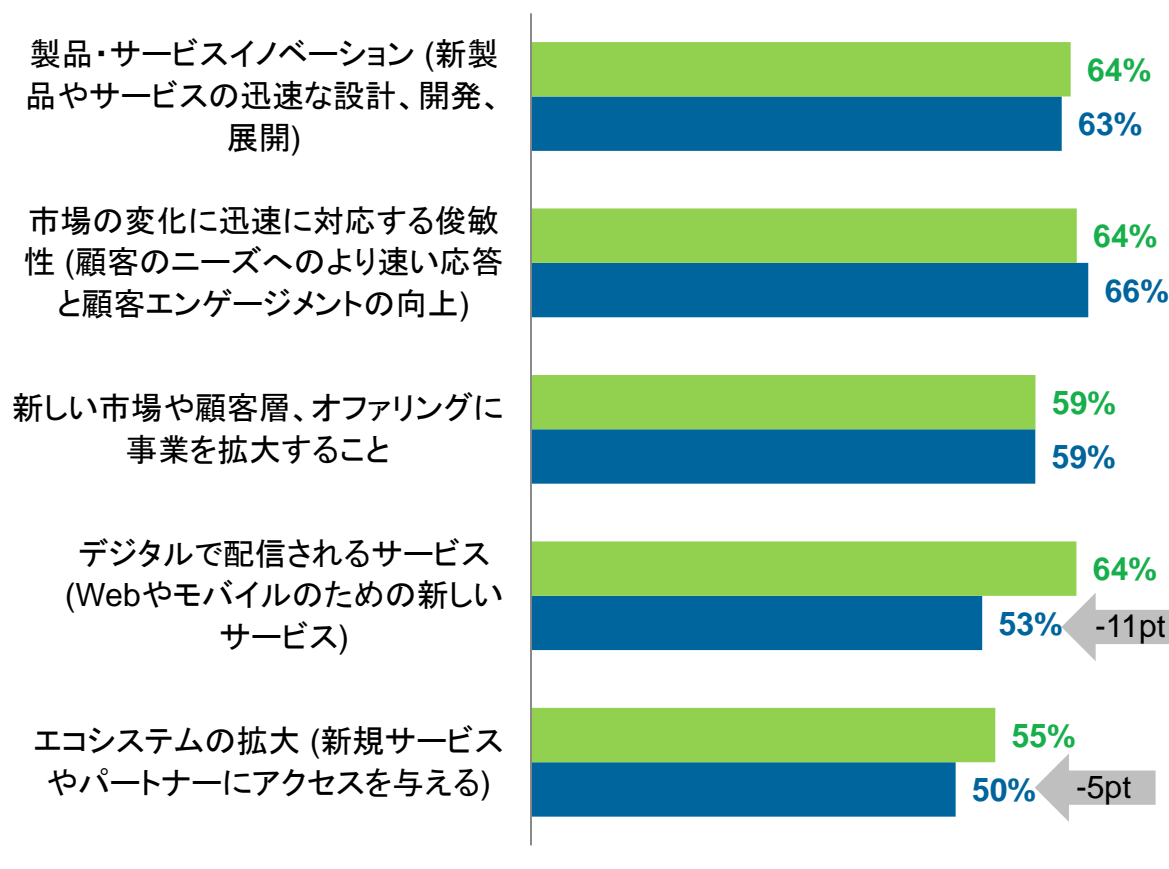


■ WW  
■ Japan



企業は、ハイブリッド・クラウドでビジネスの成長を実現しているが、デジタル・サービスの成功やエコシステムの拡大においては、グローバルより遅れている

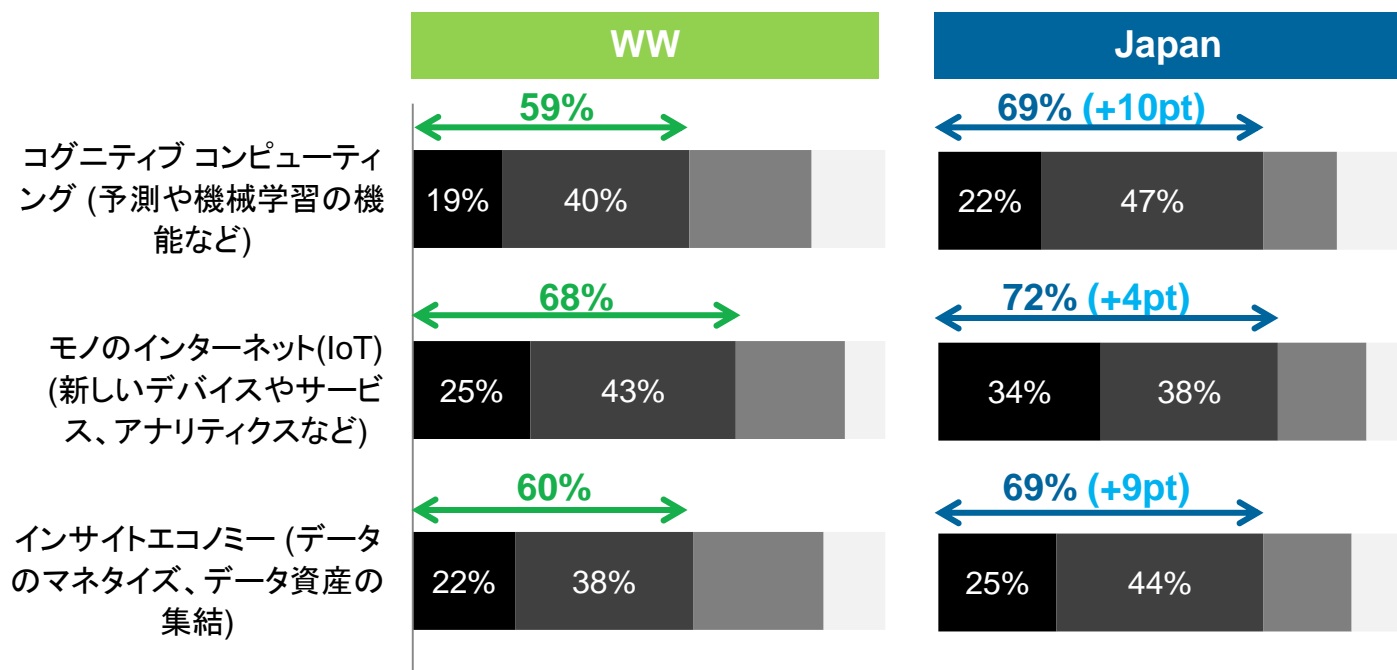
## 先進的なデジタル・ビジネス ハイブリッド環境において得られた成果



日本企業は、コグニティブなどの「次世代型」の活動を実現するために、ハイブリッド・クラウドを活用したいと考えている

## 次世代イニシアチブへの展開

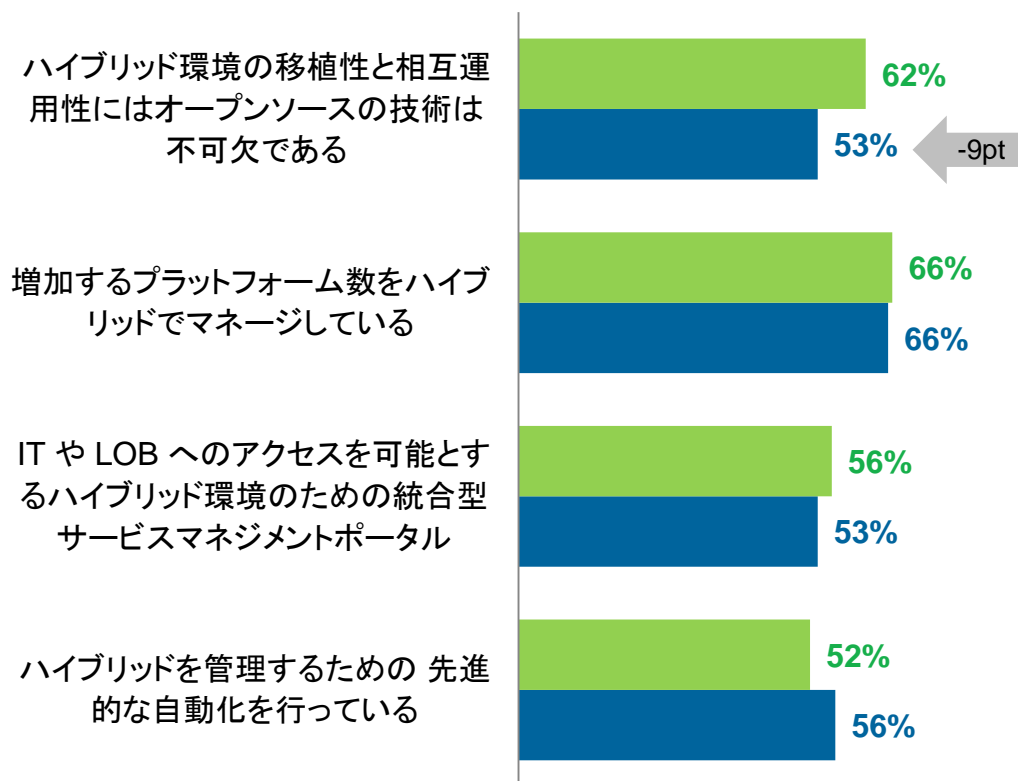
今後3-5年で想定される「次世代型」の活動を実現するためのハイブリッド環境の使用状況



既に使用している    
  使用を計画中である    
  具体的な予定はないが、検討の可能性はある  
 検討の可能性は全くない/不明

オープンテクノロジーを重視する企業は相対的に少ないが、全体としては、グローバルと同水準で先進的なハイブリッドのマネジメントを行っている

## 先進的なハイブリッドのマネジメント



■ WW  
■ Japan

# 日本企業は、全社的な戦略と先進的なテクノロジーのもと、デジタル・イノベーションを推進していく必要がある

**1**

## 全体像を描く

全社的なコラボレーションに基づく包括的なハイブリッド・クラウド戦略を策定する。ITリーダーとビジネス・リーダーの両者を巻き込み、組織の求めに対し一致協力する

**2**

## ビジョンから現実へと目を向ける

セキュアなハイブリッド環境と複雑性への取り組みのため、先進技術を適用する。  
特に自社環境全体にわたり、相互運用性とポータビリティを向上するため、オープン・テクノロジーを活用する

**3**

## 先進的なデジタル・イノベーション

効率や生産性などのハイブリッド・クラウドの基本的なベネフィットから、次のステージへ移行する。ビジネス成長を支援するデジタル・サービスの開発において、ハイブリッド・クラウドの機能を活用する。そして、パートナーや顧客とのエコシステムを拡張していく